

# 資料編



# 1. 自由意見



## 自由意見

京都府の人権教育・啓発に対する意見等を自由に記入してもらったところ、回答者総数 1,525 人のうち、337 人 (22.1%) から総数 348 件の意見・要望が寄せられた。

主な意見については、下記のとおりである。

### □人権教育・啓発活動について

【 主な意見 】	
●	人権教育・啓発等を根気よく、地道に継続していくことが大事なことだと思う。
●	根気強く、工夫でこなし、効果をあげる努力がいる。深みのある人権教育がいる。
●	人権教育・啓発を進めていただくのは良いが、税金だと無駄が多いような気がする。
●	公的な人権教育は不要。そんなことに大切な税金を使わないでほしい。かかった費用に見合う効果があるとは思えない。
●	人権が学習や知識を得る事には賛成だが、同和地区の扱いについては、これからの子ども達に教えて欲しくない。同和地区の意味を知った時から差別意識を持ってしまう。
●	同和問題は取り立てて言わなくても、長い年月を過ぎれば、自然に無くなると思う。今、声を大にして問題にするべきではないと思う。長い年月には自然に消えていくものではないか。
●	学校の同和問題についての授業で、差別された人達がいることを知って、子ども達は衝撃を受けて帰ってくる。親も再認識する。あえて取り上げる事で、何も知らなかった子ども達に認識させ、同和地区の子ども達には辛い現実を突きつけることになる。同和問題を取り上げる事により、いつまでも差別の糸が断ち切れないのではないか。授業は止めた方が、自然に差別が無くなる様な気がする。
●	他県から京都に移り住み、初めて同和の事を知った。これほど熱心にする必要があるのか、少々疑問に思っている。
●	子供への教育が先ず一歩と思える。成人になってからでは遅いのではと感じる事が多々ある。
●	相手に対し、自分がされたり、言われたくないような事はしない等、小さい時から折に触れ、伝える事が大切なような気がする。
●	社会には色々な人が生活し、生きていることを知り、自分自身も含め、人を大切にすることを小さい時から育てていけたら、差別意識や人との比較も軽減できると思う。
●	同和問題だけではなく、一人ひとりの人権を大切にせる教育、常識のある子に育てる教育を啓発する。
●	子どものときからの教育が一番重要である。
●	将来のため子ども達 (小学生～大学生まで) に、しっかりと人権教育をして頂きたい。
●	様々な人権課題はあるが、まず、人間としてのモラル・道徳感の教育をお願いしたい。個人個人考え方があって当然だと思うが、人を敬い、尊重できる人格を養いたい。

□人権教育・啓発活動について

【 主な意見 】	
●	学校教育における啓発が、もっとも効果が高いと思う。
●	中学・高校等においての人権教育が少しあいまいなように思う。又、同和教育をされていない学校も多いように思う。差別が残っている以上、若い世代に正しい知識を伝え、差別を無くす努力をもっとしていくべきであると考え。
●	小さな頃から人権に対する意識を持たなければならないと思うので、学校の中でも特に小学校での教育が重要であると考え。
●	学校教育の中で、地域や家庭を巻き込んだ人権教育を実施するのが、効果的だと思う。行政も学校が取り組みやすいように支援すべきだと思う。
●	人権教育を進めることの出来る人材、教員を育てるべき。
●	教育の場での取り組みを充実させていくことが大切だと考える。
●	人権の尊重は基本的には人への思いやりが一番であり、家庭での子育てが最重要と思う。
●	核家族化の中、両親が共働きの家庭が多く、子どもの頃から、人との繋がりが少なくなっている現状、インターネットの普及により、更に加速している。この事が他人を、人を、思いやる心の乏しい人間を作っていると思われる。
●	全ての物事の基本は家庭だと思っている。
●	人権問題に関する講習等に参加しているが、知識だけに留まって、実際に、何かに活かされるとは言えない。どう行動していくかが課題である。
●	新聞・テレビ等により、啓発活動を行うべきである。
●	現在の京都府の同和に対する対策が分からない。
●	人権に関する事はぼんやりとしか分からない。もっと詳しく知る手段が分からない状態にある。
●	人権について関心が余り無い。万人に向けて、常に発信してほしい。
●	まだまだ足りないと思う。ネットやテレビ等をもっと活用して、老若男女の意識を変えてほしい。
●	人権意識を高める為の冊子等の作成と配布を行う。
●	この「人権教育・計画」がどのように行われているのか、もっと具体的に知る方法を知りたい。
●	地域での研修会等に積極的に参加したい。
●	府民が参加したくなるようなイベント等の企画・運営を期待している。
●	人権教育・啓発のセミナーがあればぜひ参加したい。
●	人権教育・啓発だけでは効果が薄いと思う。

□人権教育・啓発活動について

【 主な意見 】	
●	普段の生活の中で、人権について考える機会がない。何か、そういった身近な機会があればと思う。
●	今よりもっと、学校や企業、地域などで、人権教育・啓発を充実すればよいと思う。
●	具体的にどのようなことをしているのか、はっきり伝わってこない。興味や関心の無い人達を取り込むために、もっとメディアなどを使って、目にふれさせるべきだと思う。

□人権問題への対策、理解について

【 主な意見 】	
●	人権が擁護されすぎて、逆差別が起きることも注意すべき。
●	同和地区への施策等の拡充、住民への優遇等で逆に差別的な感情を持っている人が多い様に思うし、同和地区がなくなる原因になっていると思う。
●	同和地区の住民の方の中には、自分たちは色々な面で保護されて当然…だと思われている人達に出会うことがある。私から見れば優遇されすぎているのでは？と疑問に思う事もある。
●	人権問題を考えるのも大事だけれど、それが一人歩きしたり、過剰に取り上げられ、逆差別を起こすこともあると思うので、人権教育・啓発という事への取り組みには、先走りすることの無いように注意が必要。
●	同和・在日など、一般的な日本人より豊かに生活している方が多いので、このような事にこれ以上お金を使う事はおかしいと思う。いつまでも「差別」を利用して補助をされるべきではないと思う。
●	現在の社会では逆差別が目立つ。それは行政の過保護にあり、反って差別を生んでいる。
●	住民一人ひとりが人権問題を、日常の生活習慣として捉える必要が大切である。
●	他人事でなく、自分がそうなった時と考えられる人間に育てたいし、僅かでも持てる力をがんばって努力するよう、できるように望んでいる。
●	一人ひとりの人間としての心の資質を高める事が求められる。
●	自分の権利を主張する余り、相手の立場を尊重しない社会になりつつある。人権もお互いの立場を認め合う、許容の心を育てることが大事と思う。
●	人と人とのふれあいを大切に、数多く、その中で他人を理解しようとする、心を育む取り組みが必要と思う。

□人権問題への対策、理解について

【 主な意見 】	
●	現在は人権問題の差別意識が多様化してきており、インターネット上での問題も然りである。一人ひとりが関心を持ち改善していければと考えている。
●	子供の教育も必要だが、まず親世代以上の人達の意識を変えることが大切だと思う。差別がひどいのは大人だと思うので。
●	同和問題は親から子へ受け継がれている様に思うので、50歳代以上ぐらいの世代に対して、あまり批判的な発言をしないように促すことができればマシになる気がする。
●	大人が正しく人権問題を理解しなくてはならないと思う。いくら、小・中学校などで人権学習をしても大人が分かっていなければ、次の世代に正しく伝えていくことが出来ないのではないかと思う。
●	子供や若者より、一番年寄りが差別意識があると思う。
●	「同和問題」や「在日朝鮮人」に対する認識は個人差があるが、正しい知識を持つ事が大切だと思う。
●	「人権」自体の意味がよく分からない。
●	京都市特有の建前と本心を使い分けるといふ強い土地柄もあり、なかなかこの問題は解決しないと思う。
●	同和問題については、他の都道府県に比べ、敏感すぎる感を抱く。
●	臭い物にはふたをしろと言う気持ちが根っこに、いつまでも残っているような町である。
●	高齢者や障害者などをもっともっと支援し、親身になってほしい。
●	障害者への理解がまだまだである。
●	自宅で親の介護をしているが、こういう人達の人権も、もっと認めて頂けないものかと常々思っている。
●	パートやアルバイトに対する人権が尊重されていない。
●	不況、就職難の中、不当な職場での扱いなどに耐えなければならない。現場に異議を言ったところ、新しい人を入れ、辞めるようにされた。
●	女性の職場での差別は解決するのは大変だろうかと思う。出産・育児で仕事を休職したりと、異性の方に比べると大変なハンディがある。
●	同和地区に対する差別は今ではないと思う。小・中学校でも同和地区の取り組みもやっており、それによって自分の住んでいる所に同和地区があると知った人のほうが多いと思う。
●	人権と、改めて言葉にすると重たい響きがする。もう少し取っ掛かり易く、分かり易く、皆に伝わるようになれば良いと思う。
●	47都道府県の中で、人権意識が最も高いと感じている。



□人権問題への対策、理解について

【 主な意見 】	
●	差別のない社会にしていきたいが、個人だと、何をどう実践すれば良いのか分からない。一人ひとりの心がけでどうにかなる問題ではないと思う。
●	最近特に子どもに対しての人権の尊重が重視されすぎている。
●	差別する意識を持っている事こそが差別していると思う。

□その他

【 主な意見 】	
●	立派なパンフレット等を作るより、公務員が常に高い人権意識を持って仕事に努める事。
●	役所の方々の対応で、差別を受けたと思うことがあった。
●	もっと公務員が率先して意識を持つべきである。人権啓発担当者のみが取り組んでいるような気がする。担当部署が変わると意識が薄れていると思う。
●	人権に対する理解を深めることができた良い機会になった。
●	今まで人権問題に関してあまり深く考えたことがなかった。これを機に周りを見渡して考えたいと思う。
●	気軽に相談できる窓口を増やし、カウンセラーの養成を。
●	被害に遭った人が相談に行きやすい、広い窓口をPRしてほしい。
●	今後も積極的に人権教育・啓発を進めていただきたい。
●	行政が年間を通じて、住民に対する人権意識を高めるための啓発ならびに施策を行う。
●	小学校では同和地区がどこにあるのかも教えてくれない。きちんと教えるべき。
●	文書だけではなく、行動をお願いしたい。
●	アンケートの前段に、人権の定義であるとか、アンケートの目的とかも明記すべきだと考える。定義、目的が不統一な中でのアンケートでは、集計データも安定しないように思う。
●	アンケートの設計に問題を感じる。質問の因子が多数含む質問ばかり。これでは具体的に対策を検討されるのに不適切と思う。